

「あいさつを
つづけよう
げんきやろう
しょう」

【11月 校長講話より】

11月は、なかよし月間です。校長先生から「自分の気持ちを、正しい言葉や優しい言葉で伝えることができたなら、もっともっと仲良しになることができる」というお話がありました。

みなさんが、友だちとケンカになったり、困ったこと(トラブル)になったりするのは、どんなことが原因(げんいん)だと思いますか？先生は、調べてみました。大きく分けて、この3つが多いそうです。

1. いじめや、仲間はずれ
2. 物の貸し借り(かしかり)や、交換(こうかん)
3. ひどい言葉(ことば)

では、この3つのことについて、どんなことに気をつけたらいいか、一緒に考えてみましょう！



1. いじめや、仲間はずれに気をつけよう！

みなさんには、とっても気が合う友だちもいれば、「ちょっと苦手だな」と感じる友だちもいると思います。それは、先生やお家の方など、大人たちも同じなんです。でも、「苦手だから」といって、その友だちの悪口を言ったり、仲間はずれにしたり、いじわるをしたり、無視をしたりするのは、絶対にいけません！クラスや学校では、みんなが、楽しく過ごすことが大切です。なので、相手が悲しくなるようなことを言ったり、相手が嫌がる態度をとったりすることは、やめましょう。

2. 物の貸し借りや交換はしないようにしましょう！

カードやゲームソフトなどを、おうちの人に言わないで、友だちに貸したり、借りたり、交換したりして、ケンカになることは、すごく多いです。貸したものが返ってこなかったり、壊れて返ってきたりすることがあります。また、自分の大切なカードと、友達のいらないカードを交換させられて、トラブルになることも、とても多いです。友だちとずっと仲良ししているためには、自分の物と友だちの物の貸し借りや交換はしないことが、大切です。

3. ひどい言葉を使わずに、気持ちを伝えよう！

自分の思っていることを、うまく言葉で伝えられなくて、ケンカになることもあります。ケンカになるのは、人をキズつける言葉を使ってしまったときです。このような言葉は、友だちに嫌なことを言われたり、されたりしたときに、思わず使ってしまう人がいるかもしれません。でも、その言葉では、「自分は、いやだった」ということは伝わりません。なぜでしょう。自分が相手に本当に伝えたいことは、相手を言葉でキズつけることではないからです。伝えたいのは、「いやだった」とか「悲しかった」という気持ちですよね。「その言い方は、すごくキズついたから、やめてね。」「とても悲しい気持ちになったから、やめてね。」と、相手にも正しく伝えましょう。言わないことはもちろんですが、人が悲しい思いになる言葉を書いたり、SNSで発信することも絶対にやめましょう。

みんなが、自分の気持ちを、正しい言葉や優しい言葉で伝えることができたなら、もっともっと仲良しになれるます。みんなで言葉づかいや友だちへの接し方に気を付けて、最高の南小にしていきましょう！

11月10日(月)～12月5日(金)

なかよし月間（11月）～なかよしの木・縦割り班活動～



11月10日(金)から12月5日(金)までは、なかよし月間です。生活委員会のよびかけで、玄関横の大廊下に掲示されたなかよしの木に友達のすてきなところや感謝していることを書いて貼っていきます。日に日になかよしの木には心が温くなるメッセージが増えています。メッセージから書いたその子がどんなことを

大切にしているかが伝わってきます。子どもたちもメッセージを嬉しそうに読む姿があります。周囲から自分のことを認めてもらえる喜びが自己肯定感を育みます。

また10日(月)から28日(金)までは今年度2回目の縦割り清掃に取り組んでいます。週ごとに環境美化委員の皆さんが提案してくれた「めあて」に沿って、これまで積み上げてきた班のチームワークを発揮しながら、一生懸命に清掃に取り組む姿があります。

なかよし月間では、異年齢の友達との関わり(縦割り班活動)を通して、仲間どうしの認め合いや多様性を認める雰囲気作りも大切にしています。



なかよしやきいも会（全校）



12日(水)には、仲良し企画の「やきいも会」が行われました。当日はお天気にも恵まれ、各学年で育ててきたさつまいもを使い、縦割り班ごとに焼き芋をいただきました。焼き芋を食べる前には、6年生の皆さんが「もうじゅう刈りにいこう」ゲームを企画してくれ、全校で楽しみました。当日の運営、準備や片付けも高学年の児童の皆さんを中心に進めてくれました。焼き芋はとてもおいしく、笑顔がいっぱいに広がっていました。心もからだも温かな時間となりました。

当日の運営、準備や片付けも高学年の児童の皆さんを中心に進めてくれました。焼き芋はとてもおいしく、笑顔がいっぱいに広がっていました。心もからだも温かな時間となりました。

東小・西小との交流

6月の選書会に引き続き、先月30日(金)には、5年生が南小の体育館を会場に西小と東小の5年生交流をしました。中学校進学を見据えた他校の同学年どうしの交流は、南小のような小規模の学校にとっては貴重な仲間づくりの機会となります。お互いに交流する内容を考えて、子どもたちの子どもたちによる交流が進められていました。



ランラン大会（全校）

7日(金)には、ランラン大会が開催されました。ランラン大会では、子どもたち一人ひとりが自分で走る距離を決め、ゴールを目指します。大会当日は、爽やかな秋晴れに恵まれ、日頃の成果(週2日、朝の時間に取り組んでいる体力づくりのためのランランの時間)を発揮しようとゴールを目指して、子どもたちは、懸命に走りました。苦しい時間もある中で、子どもたちに勇気を与えていたのは、「頑張れ!」「ファイト!」という友達からの声援や会場に駆けつけていただいた多くの保護者の皆様の大きな声援やゴール後の拍手でした。ゴール後に浮かべる晴れやかな子どもたちの表情からは、苦しさを乗り越えた達成感が伝わってきました。子どもたちを支えていただき、ありがとうございました。





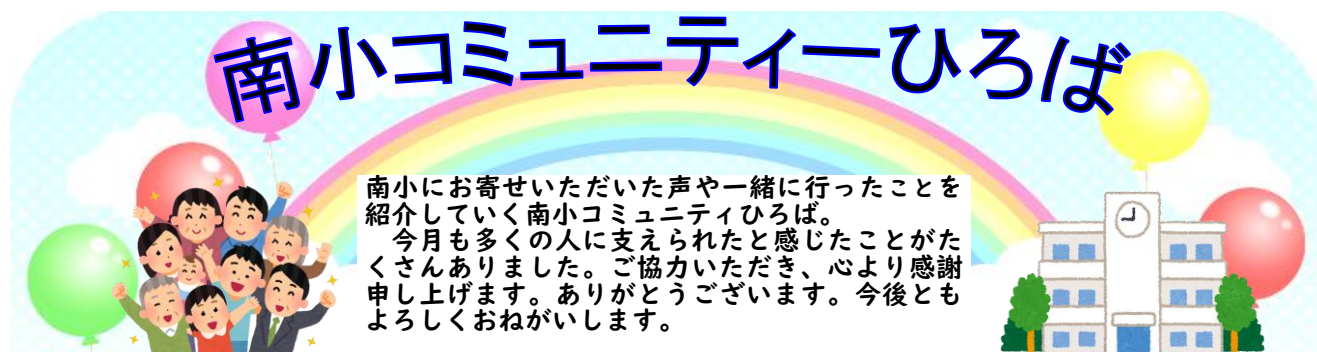
【感染症による学年閉鎖等の連絡について】

11月に入り、上伊那郡内の小中学校では、インフルエンザの罹患報告が急増しています。学級閉鎖になったというケースも報告されています。南小学校では、今月以降インフルエンザの罹患報告はありませんが、近隣地域のこうした状況を踏まえると、感染予防のための取り組みに努めていく必要があります。保護者の皆様による日頃のお子さんの健康管理に感謝いたしつつ、引き続き、うがい・手洗いの励行、手洗後はハンカチで手をふく、場合によってはマスクの着用等の感染対策をお願いいたします。子どもたちの健康を守るためにも、ご家庭でのご協力もいただきながら、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以下の点についてお願いします。

- ・学年閉鎖については、「Home & School」で連絡します。
- ・前日から具合が悪い場合や感染症の陽性が確認された場合には、速やかに電話（79-2224）や「Home & School」の欠席連絡でお知らせください。子どもたちの登校前に状況が分かると、対応しやすくなりますので、ご理解ご協力をお願いします。

【太鼓発表会（11/26）、地域の皆様へのダンス・太鼓発表会（12/5）について】

以前、配付しました通知にてお知らせした通り、11月26日（水）は太鼓発表会、12月5日（金）は地域の皆様へのダンス・太鼓発表会を計画しております。1・2年生は運動会で取り組んだダンスを12月5日（金）のみになりますが、発表します。運動会で輝いていた姿を再びお見せできる機会になります。また3・4・5・6年生は南小伝統の和太鼓演奏を発表します。和太鼓演奏では、3年生は「夏祭り」、4年生は「ドッコイ」、5年生は「山呼」そして6年生は、全校児童の憧れの「弾打」を演奏します。今年度も上の学年が下の学年に教える引き継ぎの時間から始まり、それぞれの学年で定期的に練習を積み重ねてきました。毎年、その学年で演奏する曲目は同じですが、演奏する子どもたちは替わっていきます。同じ曲目でありながら、その年その年の子どもたちの和太鼓にかける熱い思いが、和太鼓の音色や曲の構成などに表現されています。「自分たちによる自分たちにしかできない演奏をどのように作り上げてきたのか？」その成果を発表する場になりますので、多くの保護者の皆様、地域の皆様のご来校をお待ちしています。よろしくお願いいたします。



○地域の文化祭に児童の作品を出品させていただきました

今年度も福与・三日町の両地区の文化祭に子どもたちの作品を出品させていただきました。大勢の地域の方に見ていただき、「子どもたちの作品を見ると元気が出るね！」などとお声がけをいただきました。支えていただいている地域の方からのお声が、子どもたちの学習の励みになっています。ありがとうございました。

○福祉体験学習にご協力いただきました

10月24日（金）には、3年生、4年生、5年生が福祉体験学習を行いました。3年生は、アイマスク体験を、4年生は車いす体験を、そして5年生は認知症について学びました。今年度も町社会福祉協議会や特別養護老人ホームみのわ園、ふれあいの里の職員の皆様にご協力いただき、福祉体験学習を行うことができました。子どもたちは、体験や学習を通して、様々な立場の人の生活や工夫、思いを知ることができました。そして、「困っている人がいたら助けたい。」「『手伝いますか?』と声をかけたい。」「人に優しい人になりたい。」と自分にできることを考える姿もありました。自分の考え方やものごとの見方、とらえ方を広めたり深めたりすることができた貴重な機会となりました。

